

学習の指針（シラバス）

教科名	美術科	実施学年	2年	週時数	1時間
-----	-----	------	----	-----	-----

1 学習の目標

- ・対象や事象を捉える造形的な視点を理解するとともに、意図に応じて自分の表現方法を追求し、創造的に表すことができる。
- ・自然の造形や美術作品などの造形的なよさや美しさ、表現の意図と創造的な工夫、機能性と洗練された美しさとの調和、美術の働きなどについて独創的、創造的に考え、主題を生み出し豊かに発想し構想を練ったり、美術や美術文化に対する見方や感じ方を深めたりすることができる。
- ・主体的に美術の活動に取り組み創造活動の喜びを味わい、美術を愛好する心情を深め、心豊かな生活を創造していくことができる。

2 学習計画及び評価方法

学期	月	学習内容	学習のねらい	備考 (時間)	評価
第1学期	4	オリエンテーション	・美術の学習内容を知る。	1	鑑賞プリント 作品制作への 取り組み ワークシート 作品 振り返りカード
	5	空想画	・シュルレアリスムなどの幻想絵画を鑑賞し、現実ではありえない世界を描いた絵画のよさや美しさを感じ取る。	10	
	6		・透視図法を学習し、遠近法を理解する。 ・夢や想像、感情などの心の世界をもとに主題を生み出す。 ・構成を工夫し、心豊かな表現をする。		
	7	ポスター制作	・伝えたい内容と対象、社会との関わりなどからテーマを生み出し、伝達の効果と美しさの効果を考え表現の構想を練る。	4	
第2学期	9	空想画（続き）	・用具の特性を生かし、意図に応じて想像的な表現ができる。	3	作品制作への 取り組み ワークシート 作品 鑑賞プリント 振り返りカード
	10		・制作の順序を考え、見通しを持って制作をする。		
	11	陶芸	・日本古来の土偶の鑑賞をし、作者の表現の工夫や意図について考えを深め、見方や感じ方を深める。	10	
	12		・祈りや願いをもとに主題を生み出す。主題に合わせて形や色を工夫しながら、制作する。 ・粘土や用具の生かし方などを身につけ、意図に応じて工夫し、制作の順序などを考え、見通しをもって作業する。		

第3学期	1	日本の文化を学ぶ ～祈りの造形、仏像の美～ ～金の表現、墨の表現～	<ul style="list-style-type: none"> ・日本の仏像や絵画を鑑賞し、伝統や文化のよさや美しさを感じ取り、美術文化の継承と創造について見方や感じ方を深める。 ・単純化、省略、強調などを考え、想像的な構成を工夫し、心豊かに表現する。 ・素材の特性を考え、見通しを持ち、用具の特性を生かして制作をする。 	7	鑑賞プリント 作品制作への 取り組み ワークシート 作品 振り返りカード
	2				
	3				

3 評価について

	評価の観点及び内容	評価方法
知識・技能	形や色彩、材料となる素材、光が感情にもたらす効果や、用具や材料の取り扱い方や特性を理解し、意図に応じて自分の表現法を追求し、創造的に表すことができるかを、提出作品より判断する。	提出作品
思考・判断・表現	感じ取ったことや考えたことを基に、創造的な工夫をし、課題に応じた心豊かに表現の構想を練ることができているかを、ワークシートや提出作品などから判断する。	ワークシート 鑑賞プリント 提出作品
主体的に学習に取り組む姿勢	美術的な知識及び技能を習得したり、思考力、判断力、表現力等を身に付けたりするために、自らの学習状況を把握し、学習の進め方について家庭での技能の練習や、調べ学習などを通じ、試行錯誤するなど自らの学習を調整しながら、学ぼうとしているかを提出物などから判断をする。	ワークシート 鑑賞プリント 提出作品 作品制作への取り組み 振り返りカード

4 家庭学習（予習、復習、提出物等）について

- ・有名な作品は授業内でも紹介しますが、世界にはたくさんの作品があります。家庭でも調べてみると表現の幅が広がるでしょう。
- ・自分のイメージを広げるために、タブレットなどを活用して作品や資料を探してみましょう。思いもよらない新しい発想が生まれるかもしれません。
- ・提出物は、必ず期限内に提出しましょう。

5 教材等について

- ・教科書：美術 2・3 （開隆堂）
- ・その他：ポスターカラー、スケッチブックを使います。